

学習支援・居場所づくりを軸とした、放課後子ども教室での取り組み

～ 愛知県 北名古屋市教育委員会 ～

学クラ新聞

第14号



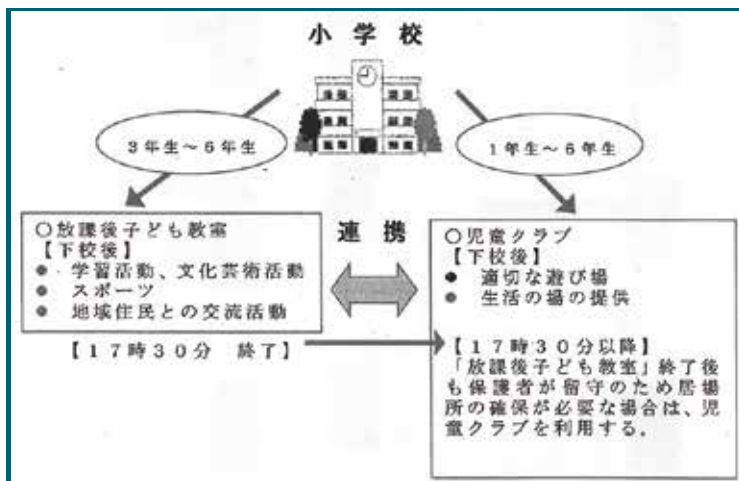
北名古屋市教育委員会生涯学習課では2016年より、放課後子ども教室をほぼ毎日開催されています。『放課後の児童が安全で安心できる居場所を設け、児童が地域社会の中で豊かで健やかに育まれる環境づくりを促進する』ことを目的に、小学校全10校で開催しています。学習支援の教材として、『みんなの学習クラブ』を活用し、子どもたちが主体的にプリントを印刷し、活用されています。学習支援の他、様々なレクリエーションをとり入れ、運営されています。地域やNPO団体と協力して開催されている、放課後子ども教室での取り組みについてご紹介します。

放課後子ども教室の運営方法

実施校 全10校（8校はNPO団体、2校は市が直営）
 実施日 学校給食のある月曜から金曜の授業終了後～5時半
 対象 3年生～6年生の児童
 支援者 コーディネーター1名、学習サポーター1名

月に一度、コーディネーター会を実施し、運営上の課題は教育委員会とコーディネーターと一緒に考えて対応しています。

【児童クラブとの一体型運営】



市の事業を一部NPO団体へ委託し、運営しています。2018年度より、児童クラブを運営するNPO団体が放課後子ども教室も運営し、児童クラブとの連携を図っています。帰宅方法は、「保護者のお迎え」「部活下校」「児童クラブからの帰宅」を選択できます。終了後児童クラブに残る児童の状況は、放課後子ども教室の担当から児童クラブの担当へ引き継ぎ、連携を図っています。

◆保護者からの喜びの声

「宿題や学習を見てもらえてうれしい」

放課後子ども教室では、まず最初に宿題に取り組みます。宿題がわからないときも教えてもらえるので、保護者も喜んでいました。また夏休みもほぼ毎日開催しており、夏休みの宿題が7月中に終わる子もいます。ドリルだけではなく、絵や工作も放課後子ども教室の時間に行うなど、ご家庭ではサポートが難しい宿題もフォローしています。



子どもたちは、毎回、連絡帳を持ってきます。放課後子ども教室の様子を保護者へ伝えています。

放課後子ども教室の1日

14:30 入室

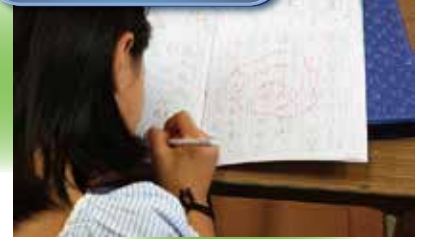
14:30 入室
 14:35 宿題
 15:00 休けい
 15:10 iプリ
 (3枚以上かんばん)
 15:30 計プリ
 15:40 室内レク
 17:10 片づけ
 17:20 着席

放課後教室の1日の流れを黒板に書いておきます。



自分のファイルを取り、パソコンの「入室退室管理システム」に入室登録をします。

14:35 宿題



まずは学校の宿題から始めます。わからない場合は、学習サポーターが支援します。



教室には入室退室管理用のパソコン1台、学習用のパソコン2台、プリンター1台があります。

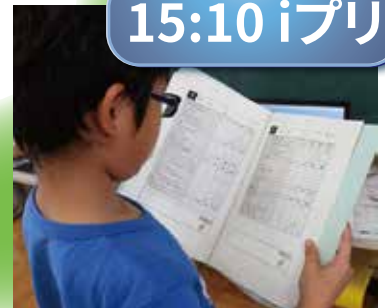


進捗チェック表に先生からハンコを押してもらいます。



バーコード一覧からバーコードを使って印刷します。3枚以上取り組みます。

15:10 iプリ



進捗チェック表を見ながら、みんなの学習クラブから自分で学習するプリントを決め、パソコンから印刷します。

15:30 計プリ



全体で時間を計り、一斉に百マス計算にチャレンジします。5分ほど集中して学習します。配付するプリントは、あらかじめパンチで穴をあけてすぐにファイルに綴じられるようにしています。



15:40 シール配付



学習が終わると、シールをもらえます。ファイルの表紙に貼っています。

地域の方と連携した体験・交流活動

レクリエーションの他に地域の方を講師として招き、さまざまな体験・交流活動を行っています。

- ・工作 (身近なものでロケットを作って飛ばそう)
- ・国語 (俳句を絵で表現しよう)
- ・音楽 (鼻笛を体験しよう)
- ・理科実験 (身近なものを顕微鏡を通して見よう)
- ・レクリエーション (消しピン〈消しゴム遊び〉)
- ・英語 (アルファベットの練習)
- ・福祉 (見えない世界を体験しよう)
- ・体育 (体育館でドッチビー・バレエヨガ)
- ・講演・研修 (見えない世界についてのお話を聞こう)
- ・その他 (繭から糸をつむぐ)

15:40 レクリエーション



この日は、コーディネーターの方が持ってきた、「ボードゲーム」をしていました。

